

リーシング社調査

「広告掲載は月50件以内」が最多

地域密着でネットワーク活用

リーシング・マネジメント・コンサルティング(東京都港区、阿久津裕社長)は5日、東京23区の賃貸不動産を主に取り扱う不動産仲介店舗に行

った集客・営業戦略アンケート結果(回答数171店)を発表した。ポータルサイト・雑誌媒体などへの1カ月当たりの広告掲載数を尋ねたところ

「50件未満」が23%で最も多いが、次いで「500件以上」(20.6%)と両極端な結果となった。この結果について同社は、掲載件数が少ない店舗は地域に密着し強いネットワークを形成している地場系の仲介店舗としている。この種の業者数が多いことから、「50件未満」がトップになったと考えられる。

またWEB広告や店舗

で使用する図面作成のためには物件まで写真撮影に行くか、という設問については回答した171店舗中161店舗(94%)が「撮影に行く」と回答した。理由は「自社で撮影した方がアピールしやすい・使い勝手がいい」が64.5%でトップ、次いで「他社との差別化がしやすい」(52.5%)だった。

一方で、「貸主・元付会社に写真がない・少ない」(39.8%)、「貸主・元付の写真のクオリティが低い」(13.9%)という回答もあった。